



平成10年10月13日
日本原子力発電株式会社

輸送キャスク問題対策本部の設置について

当社は、今般の使用済燃料輸送用キャスクの中性子遮へい材のデータ改ざんに係わる問題を踏まえ、本日、別添の通り、社内に『輸送キャスク問題対策本部』を設置いたしましたので、お知らせします。

以上

別添 原電工事（株）の使用済燃料輸送キャスク問題対策本部の設置について

別添

原電工事（株）の使用済燃料輸送キャスク問題対策本部の設置について

1. 目 的

今回の原電工事（株）に起因する標記事態は、原子力発電に係る事業者としてあってはならないことであり、原子燃料サイクル事業、原子力発電事業に与えた影響が大きいことに鑑み、当社自らの問題として真摯に受け止めなければならないと考えています。今後は当社が先頭に立って事実関係の早期解明、科学技術庁に設置された調査検討委員会の検討への積極的協力、品質保証体制の見直しなどに取り組むとともに、原電工事（株）と一体になって、一日も早い社会的信頼の回復に向けて、全力をあげて取り組むことと致します。

2. 実施事項

- （１）原因の分析と対策の立案
- （２）キャスクの安全性評価・分析
- （３）品質保証体制の見直し
- （４）情報公開の推進
- （５）関係会社の管理・育成方策

3. 体制

輸送キャスク問題対策経営会議の下に推進本部を置き、関連する役員、部門長が上記実施事項を分担し、必要な改善策、再発防止対策等を立案、実施する。なお、経営会議及び推進本部に原電工事（株）社長の参画を求める。

以上

体 制 輸送キャスク問題対策本部組織図

体 制 輸送キャスク問題対策本部組織図

